

令和6年度地域脱炭素化支援事業委託 公募型プロポーザル
質問内容及び回答

番号	質問内容	回答
1	温室効果ガス排出量「見える化」はクラウドシステムである必要はあるか。	仕様書4（1）アにおいて対象市町の温室効果ガス排出量等について確認することとありますが、本事業の委託内容として、温室効果ガス排出量の「見える化」を実現することは想定していません。ただし、市町の地域脱炭素の具体的な取組の1つとして「見える化」を提案することは妨げません。
2	温室効果ガス排出量のSCOPE1, 2のみの算定を行い、SCOPE3の算定は含まない認識であっているか。	仕様書4（1）アにおいて対象市町の温室効果ガス排出量等について確認することとありますが、本事業は、温室効果ガス排出量の算定を目的としておりません。 なお、地域脱炭素の具体的取組の検討に当たり、サプライチェーン全体で脱炭素化を図るような取組を提案いただくことは可能です。
3	仕様書4業務内容（1）について、栃木県（甲）が指定する3市町はどこか。	実施要領4（2）に記載のとおり、参加表明書の提出後に対象市町の情報を提供します。
4	仕様書4業務内容（1）②について、対象市町との協議は対面を想定しているか。	協議については、対面を想定していますが、本事業の業務遂行に支障のない範囲において、対象市町の詳細を得た上で、オンライン会議等の方法により協議を行うことを妨げません。